

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 26 日

評価対象事業		評価者	文化課長	藤田 聡一郎
共生-25	文化行政推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	文化	施策の方針	文化活動の支援・推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉の文化の質的向上と豊かな市民生活の創造を図るため。
効果	市民をはじめとする多くの人々が集い、事業を通じ文化活動の活性化を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

- ・小・中学生を対象に鎌倉ゆかりの文化人、芸術家等による出前授業を行った(新型コロナウイルス拡大防止のため、リモートにて実施)。
- ・子どもたちが日本の伝統的な芸術文化に接し、関心を高める機会として、文化プログラム事業(鎌倉こども能)を行った。
- ・旧前田邸の管理業務を行った。
- ・市民文化祭は、展示部門として美術・写真・書道の公募展と鎌倉彫・華道等の団体展、舞台行事部門は市民団体による音楽及び演劇等を実施した(新型コロナウイルス拡大防止のため、一部の内容について変更または中止あり)。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	鎌倉ゆかりの文化人、芸術家等による出前授業事業	ようこそ先達事業講師謝礼	出前授業実施回数(回)	1 / 5 50 / 150	5 250	5 250	33.0%
02	ゆめひかる文化芸術子ども表彰事業	ゆめひかる文化芸術子ども表彰記念品	-	- / - 5 / 26	- 31	- 31	-
03	鎌倉こども能事業	文化プログラム事業委託料	参加人数(人)	17 / 20 1,540 / 1,540	20 1,936	20 1,936	85.0%
04	鎌倉市民文化祭事業	鎌倉市民文化祭負担金	観覧者数(人)	26,208 / 15,000 3,008 / 4,500	27,000 4,500	27,000 4,500	174.7%
05	文化活動補助事業	鎌倉市文化協会補助金等	-	- / - 584 / 584	- 577	- 577	-
06	旧前田邸維持管理事業	旧前田邸機械警備委託料等	-	- / - 169 / 1,180	- 1,180	- 1,180	-
07	文化行政推進事業	文化行政推進事業消耗品等	-	- / - 51 / 76	- 174	- 174	-
08	伝統文化伝承事業	伝統文化伝承事業委託料	参加人数(人)	- / - - / -	- 3,500	300 3,500	-
09	エリアナ・パプロバ顕彰碑維持修繕事業	エリアナ・パプロバ顕彰碑維持修繕料	-	- / - - / -	- 2,977	- 2,977	-
10	高田博厚没後35周年記念展事業	高田博厚没後35周年記念展運営補助委託料等	観覧者数(人)	- / - - / -	- 4,049	2,000 4,049	-
		財源内訳	国庫支出金	/	0	0	
			地方債	/	0	0	
			その他特定財源	171 /	151	151	
			一般財源	5,236 /	7,905	19,023	
			事業費の合計(千円)		5,407 / 8,056	19,174	
			人件費(千円)		16,474	24,358	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	2.0	3.0			
会計年度任用職員	1.0	1.0	1.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎌倉ゆかりの文化人、芸術家等による出前授業事業	新型コロナウイルス感染拡大が続いており、学校からの希望が少なかったため目標未達である。なお、実施した1件はリモートで行った。	次世代を担う子どもたちに本物の芸術文化に触れる機会を提供し、子どもたちの文化芸術活動に対する意欲を高めることを目的としており、市民の文化芸術活動の質的向上に寄与した。	コロナ禍においては、リモートでの実施を促すこと。また、実施対象を私立学校にも拡大していく。
02	ゆめひかる文化芸術子ども表彰事業	表彰の候補者は各学校や保護者、関係者からの推薦や自薦であり、指標の設定は馴染まない。	文化芸術活動で優秀な成績を収めた子どもを表彰し、応援することで、子どもたちの文化芸術活動に対する意欲を高めることを目的としており、市民の文化芸術活動の質的向上に寄与した。	-
03	鎌倉こども能事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、参加希望人数が目標値に到達しなかった。	日本の伝統的な芸術文化に接することで、感動を味わい、関心を高める機会の提供を目的としており、歴史を継承し文化を創造するまちづくりに寄与した。	-
04	鎌倉市民文化祭事業	コロナ禍を考慮した目標値を設定したため達成できたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け一部の行事が中止したため、参加者・観覧者共にコロナ禍以前の数値には及ばなかった。	市民の文化芸術活動の質的向上に寄与した。	市民文化祭を効率的に実施するため、市と市民の役割について整理しつつ、さらに事業費等の見直しを図る。
05	文化活動補助事業	文化芸術活動の質的向上に寄与する重要な事業であるが、補助金額については減額の可能性も考えられるため、指標の設定には馴染まない。	市民の文化芸術活動の質的向上に寄与した。	-
06	旧前田邸維持管理事業	旧前田邸の活用については、建物の用途上の制限や改修等に係る費用などの課題が多いため、指標の設定には馴染まない。	今後も本市の文化行政に寄与するよう、旧前田邸の維持管理を行い、活用について検討する。	旧前田邸の活用には、耐震やバリアフリーのための改修等に係る多額の費用が必要である。
07	文化行政推進事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	各事業の円滑な実施の実現のため。	-
08	伝統文化伝承事業	伝統的な文化に対する市民のニーズを把握するため。	子どもたちが鎌倉彫、能、茶道といった鎌倉に古くから伝わる伝統芸能や文化に触れる機会を提供し、次代を担う世代への興味、関心を高めることを目的としており、歴史を継承し文化を創造するまちづくりに寄与する。	-
09	エリアナ・パプロバ顕彰碑維持修繕修繕事業	一時的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	鎌倉ゆかりの人物の功績を記念した顕彰碑を維持修繕することで、今後も広く市民に触れる機会を提供でき、市民の文化芸術活動の質的向上に寄与する。	-
10	高田博厚没後35周年記念展事業	直近3展覧会の1日あたりの観覧者平均人数と、令和4年度展覧会開催予定日数から、目標観覧者数を設定した。	鎌倉ゆかりの文化人の作品を展示し、広く市民に公開することで、市民の文化芸術活動の質的向上に寄与する。	-

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
	○-負担導入済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	協働実施済の場合のパートナー
	○-協働実施済	鎌倉市民文化祭企画運営委員会、市民団体

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
---------	-----------------------------	---	-------------------------------	-----------------------------	--------------------------------

効率性については、事業費等の見直しの余地があることから、「削減余地」は「ある」とした。
 妥当性については、平成20年度以降指標値を超える市民等が文化行政推進事業を通し文化・芸術に親しんでいることから、「市民ニーズは変わらずにある」とした。
 有効性、事業の上位施策に向けた貢献度については、事業の実施方法等に工夫の余地が認められる。
 協働については当該事業の中で最も観覧者数等の多い鎌倉市民文化祭を市民等で構成する企画運営委員会と共に行っている。
 今後も費用対効果を考慮しながら、事業手法等を検討し、事業を通じて、より多くの市民の文化活動の活性化に資するよう取り組んでいく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	当市の相対的な位置付けを他市との比較値によって測る定量評価には、事業の性質上、馴染まないと考えられる。
----------------------	---